

大正十五年十一月十五日印刷  
大正十五年十一月十八日發行



日本名著全集  
第一期出版  
江戸文藝之部  
第四卷  
近松名作集上  
(非 眞 品)

東京市日本橋區馬喰町二丁目一番地

編輯發行兼  
印刷者

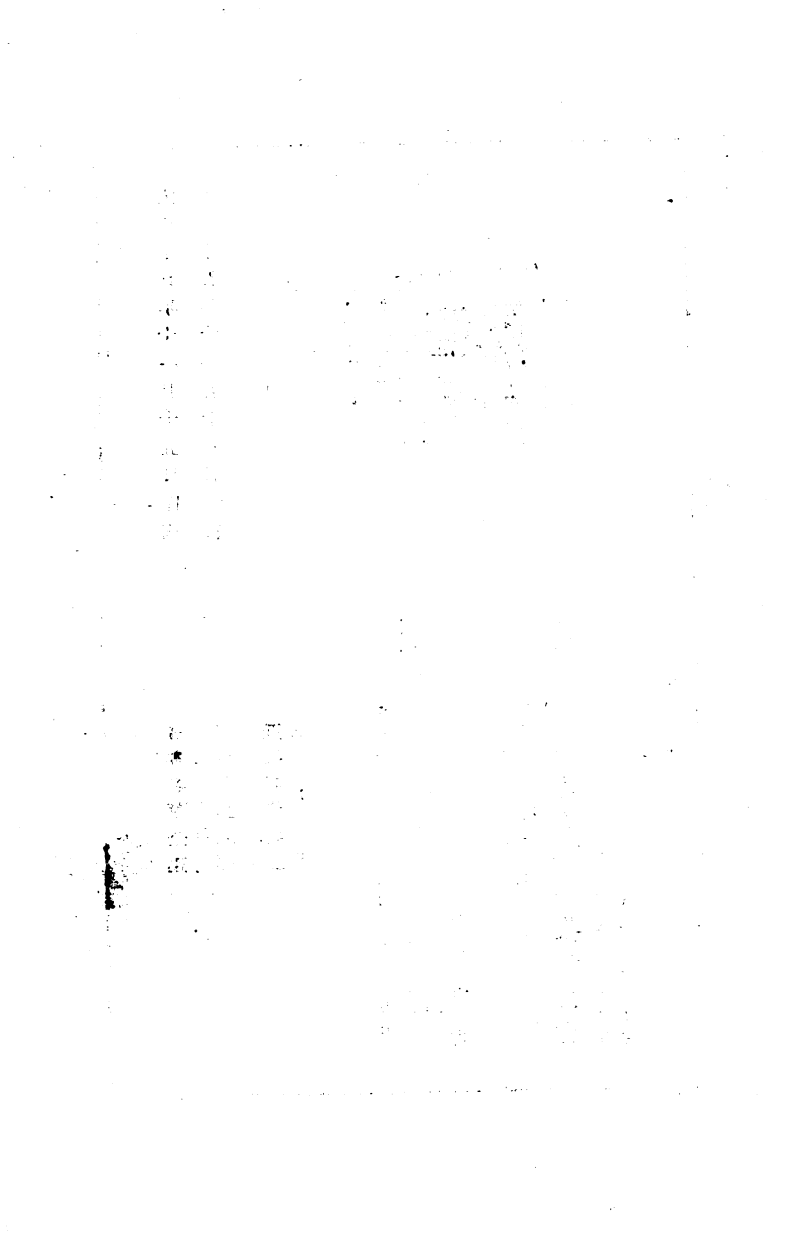
日本名著全集刊行會

代表者 石川寅吉

發行所

東京市日本橋區馬喰町二丁目一番地  
日本名著全集刊行會

電話漢花一八四〇番一八四一番  
振替東京一八四四番



# 日本名著全集 第一期出版

## 「江戸文藝之部」追加篇二卷書目豫定一覽

(但し種々の事情により多少の變更あるべし。)

### 第一卷 第二卷 西鶴名作集下

- 好色一代男 ○好色二代男 ○好色三代男 ○好色一代女 ○好色五人女 ○男色大鑑 ○武道傳來記 ○武家義理物語 ○新可笑記 ○西鶴諸國咄 ○懷硯 ○近代艶隠者 ○日本永代藏 ○世間胸算用 ○織留 ○本朝二十不孝 ○本朝櫻隠比事 ○西鶴置土産 ○萬の文反古 ○名残の友 ○俗つれ ○一目玉鉾

### 第三卷 芭蕉全集

- 正篇** ○蕉翁一代の句集 ○連句集 ○文集 ○句評 ○紀行 ○消息 ○遺語
- 外篇** ○冬の日 ○春の日 ○初懐紙 ○曠野 ○猿鏡 ○深川集 ○炭俵 ○別座敷 ○枯尾花 ○芭蕉翁行狀記 ○芭蕉翁繪詞傳

### 第四卷 第五卷 近松名作集下

- 花山院后諍 ○世繼曾我 ○賢女手習 ○門出八島 ○凱陣八島 ○源氏烏帽子折 ○出世景清 ○團扇曾我 ○婢丸 ○最明寺殿百人以上薦 ○曾根崎心中 ○薩摩歌 ○雪女五枚羽子板 ○用明天皇職人鑑 ○心中二枚繪草紙 ○兼好法師物見車 ○碁盤太平記 ○卯月の紅葉 ○堀河浪の鼓 ○卯月潤色 ○心中重井筒 ○傾城反魂香 ○心中萬年草 ○待夜の小屋節 ○淀鯉出世瀧徳 ○五十年忌歌念佛 ○艳狩剣本地 ○今宮の心中 ○百合若大臣野守鏡 ○心中刃は水の朔日 ○夕霧阿波鳴門 ○吉野都女 ○桶 ○姫山姥 ○長町女腹切 ○冥途の飛脚 ○大經師昔曆 ○生玉心中 ○國性爺合戦 ○槍權三重帷子 ○壽の門松 ○曾我會稽山 ○傾城酒吞童子 ○博多小女郎浪枕 ○平家女護鳥 ○雙生隅田川

○心中天網島 ○攝津國女夫池 ○女殺油地獄 ○  
信州川中島合戰 ○心中宵庚申 ○關八州繫馬 ○

第七卷 淨瑠璃名作集 下上

○雪女 ○北海道虎石 ○心中涙の玉井 ○金屋金  
五郎浮名額 ○金屋金五郎後日雛形 ○梳久末松山  
○お染久松袂の白しぼり ○八百屋お七 ○笠屋三  
勝廿五年忌 ○心中二つ腹帯 ○傾城思升屋 ○愛  
護若時節 ○富仁親王嵯峨錦 ○鬼鹿毛無佐志鏝  
○大塔宮曠鏝 ○須磨都源平露閣 ○壇浦兜軍記  
○蘆屋道滿大内鏝 ○苧荳桑門筑紫袴 ○徹討權樓  
錦 ○御所櫻堀川夜討 ○釜淵雙級巴 ○ひらがな  
盛衰記 ○鷗山姫捨松 ○冥奈浪花鏝 ○菅原傳授  
手習鏝 ○義經千本櫻 ○假名手本忠臣藏 ○双蝶  
々曲輪日記 ○一谷嫩軍記 ○本朝廿四孝 ○奥州  
安達原 ○關取千兩轡 ○近江源氏先陣節 ○神靈  
矢口渡 ○妹背山婦女庭訓 ○攝州合邦辻 ○新版  
歌祭文 ○伊賀越道中雙六 ○近頃河原達引 ○絲  
櫻木町育 ○繪本太閤記

第八卷 歌舞伎脚本集

○參會名護屋 ○兵根元曾我 ○源平雷傳記 ○百  
夜小町 ○傾城淺間獄 ○成田山分身不動 ○中將

○傾城壬生大念佛 ○  
○丹波與作手綱帶 ○心中鬼門角 ○伊勢  
鳥邊山心中 ○婿娶歌仙櫻 ○五大力戀絨 ○金  
頭戀疑刃 ○漢人漢文手管始 ○與話精浮名橫櫓 ○  
門五三桐 ○四谷怪談 ○

第九卷 浮世草子集

○傾城色三味線 ○傾城曲三味線 ○傾城歌三味線  
○世間息子氣質 ○浮世親仁氣質 ○世間娘氣質  
○咬分五人娘 ○傾城禁短氣 ○商人軍配團 ○業  
大門屋敷 ○鎌倉諸藜袖日記 ○日本新永代藏 ○  
御前義經記 ○好色萬金丹

第十卷 怪談名作集

○御伽婢子 ○狗張子 ○玉簪木 ○虛實雜談集  
○怪談登志男 ○近世百物語 ○西播怪談實記 ○  
○怪談實錄 ○化物判取帖 ○豐年珍話集 ○實物語  
○怪談實錄 ○英草紙 ○繁々野話 ○雨月物語  
○垣根草 ○莠句冊 ○近代百物語 ○怪談記野狐  
○深山草 ○怪談名香富貴玉 ○清誠談 ○臥遊寄談  
○怪異前席物語 ○古加良志草紙

第十一卷 黄表紙廿五種

○金々先生榮花夢 ○親敵打腹儀 ○長生見度記

○嗜多雁取販 ○狂言好野暮大名 ○大世千祿本  
 ○江戸生艶氣輝燒 ○莫切自根金生木 ○文武二道  
 万石通 ○孔子綺于時藍染 ○心學早染草 ○即席  
 耳學問 ○盧生夢魂其前日 ○馬鹿長命子氣物語  
 ○世上洒落見繪圖 ○桃太郎發端話說 ○十四傾城  
 腹之內 ○金々先生造化夢 ○忠臣藏前幕無  
 世謔口紺屋雛形 ○稗史億說年代記 ○御誂染長壽  
 小紋 ○的中地本問屋 ○人間萬事吹矢的 ○人間  
 萬事吹矢的(草稿)

第十二卷 洒落本集

○傾城買四十八手 ○契情買虎の卷 ○嫖客三體誌  
 ○娼妓絹節 ○遊子方言 ○月花餘情 ○百花評林  
 ○大抵御覽 ○異業六帖 ○廊中奇譚 ○辰巳の園  
 ○和唐珍解 ○通首總離 ○辰巳婦言 ○合子洞房  
 ○寸南破良意 ○仕懸文庫 ○猫別離子 ○道中醉  
 語錄 ○聖遊廓 ○錦の裏 ○三教色 ○契國策  
 ○眞女意題 ○甲驛夜の錦 ○田舎芝居 ○婦美車紫  
 軒 ○起承轉合 ○粹町甲閑 ○古契三娼 ○濟都  
 酒美撰 ○夜半の茶漬 ○志維川夜船 ○穴學問  
 ○狂訓彙軌本紀 ○娼妃地理記 ○遊倦窟煙の卷  
 ○女郎買精味噌汁 ○美地の蠣殻

第十三卷 讀本集

○昔話稻妻表紙 ○本朝醉善提 ○日本水滸傳 ○

旬傳實々記 ○三七全傳南柯夢 ○飛驒匠物語 ○  
 天羽衣

第十四卷 滑稽本集

○浮世風呂 ○浮世床 ○花曆八笑人 ○四十八辯  
 ○妙竹林話七個人 ○古朽木 ○奇妙圖彙 ○小紋  
 雅話 ○和歌始衣抄 ○客者評判記 ○無駄砂子  
 等。○附錄に落語本を添ふ。

第十五卷 人情本集

○春色梅曆 ○春色辰巳園 ○春色惠之花 ○葵對  
 暖語 ○梅見船 ○閑情末摘花 ○假名文章娘節川  
 八萬鐘

第十六卷 南總里見八犬傳

上中下

第十七卷 膝栗毛其他

○東海道中膝栗毛 ○木曾街道膝栗毛 ○六阿彌陀  
 詣

第十八卷 修紫田舎源氏

上下

第十九卷 和文和歌集

上下

○眞淵歌文集 ○蘆庵六帖詠草 ○桂園一枝(覺樹)

○うけらが花(千蔭) ○琴後集(春海) ○宗武歌集  
 ○曙覽歌集 ○藤篋冊子(秋成) ○晉道歌集 ○良  
 寛歌集 ○女流歌文集

第廿四卷 俳文俳句集

○五元集(其角) ○五元集拾遺(同) ○五元集脱漏  
 (同) ○雑談集(同) ○類柑子(同) ○玄峰集(嵐  
 雪) ○其袋(同) ○去來丈草發句集 ○ひとりこと  
 (鬼貫) ○鬼貫句選(鬼貫) ○七車(同) ○とくと  
 くの句合(素堂) ○韻塞(許六) ○風俗文選(同)  
 ○葛の松野(支考) ○笈日記(同) ○雅文消息(許  
 六・野城) ○蛙合(仙化) ○俳諧職人盡(盛和) ○  
 鞠衣(也有) ○燕村句集(燕村) ○燕村文集(同)  
 ○新花摘(蕪村) ○寫經社集(同) ○十番左右句合  
 (同) ○明鴉(几童) ○楳明鴉(同) ○新雑談集  
 (同) ○井華集(同) ○太祇句集(太祇) ○春泥句  
 集(春泥) ○三春日記(蓼太) ○芙蓉文集(耳得)  
 ○白雄句集(白雄) ○骨書(樗良) ○俳ざんげ(大  
 江丸) ○はいかい袋(同) ○曉臺句集(曉臺)  
 ○佐渡日記(同) ○おらが春(一茶) ○一茶句集(同)  
 ○鼠の道行(成美) ○成美家集(同) ○鷹眼集(道  
 彦) ○鶴芝(士朗) ○斧の柄(乙二) ○續繪歌仙  
 (宜麥) ○屠龍の技(抱一)

第廿五卷 狂文狂歌集

○古今夷曲集 ○萬載狂歌集 ○萬代狂歌集 ○四

方のおか ○四方の留糟 ○千紫萬紅 ○萬紫千紅  
 ○めでた百首 ○かくれ里の記 ○(石川)雅望の作  
 ては(狂文あづまなまり) ○吉原十二時 ○(風來山  
 人のものては)風來山人六々部集(前篇) ○(風來山  
 人六々部集(後篇)) ○風流志道軒 ○(手柄岡持の  
 ものでは)我おもしろ

第廿六卷 川柳雜俳集

○武玉川十八篇 ○柳多留三十篇 ○誹風柳多留拾  
 遺四篇 ○川傍柳五篇

追加篇 第廿七卷 歌謡音曲集

○義 太 夫 (近松名作集及淨瑠璃名作集と  
 重複するものは之に採らず。)

○傾城阿波の鳴門(八つ目・順禮の段) ○艶容女舞  
 衣(下の巻・酒屋の段) ○戀娘昔八丈(下の巻・鈴ヶ  
 森の段) ○桂川連理榎(下の巻・帶屋の段) ○廓  
 文章(吉田屋の段) ○傾城戀飛脚(下の巻・新口村  
 の段) ○碁太平記白石嘶(七つ目・揚屋の段) ○  
 花上野譽の石碑(四つ目・志渡寺の段) ○木下蔭狭  
 間合戦(七つ目・竹中陣屋の段) ○蝶花形名歌鳥臺  
 (八の切・小坂部館の段) ○三十三間堂棟出来(平  
 太郎住家の段) ○玉藻前職杖(三の切・道春館の  
 段) ○八陣守護城(八の切・正清本城の段) ○生寫  
 朝顔日記(宿屋の段) ○壺坂靈驗記(澤市内の段) ○  
 ○近江源氏先陣館(八つ目切・小四郎切腹の段) ○

鎌倉三代記(七の切・三浦別れの段) ○加々見山舊  
錦繪(六の切・草履打の段) ○太平記忠臣講釋(七  
つ目・喜内住家の段) ○祇園祭禮信仰記(四の切・  
碁立の段)

○河東節

○松の内 ○神樂獅子 ○隅田川舟の内 ○禿萬歳  
○灸す五殿の墨夜着 ○酒中花 ○水調子 ○うか  
○常陸帶花欄 ○道成寺 ○浮瑠璃供養 ○郡邸  
○熊野 ○泰平住吉踊 ○浮世傀儡師(外記物) ○  
小鍛冶名劍卷(半大夫物)

○一中節

○辰巳の四季 ○松づくし ○泰平船づくし ○高  
砂松の段 ○神樂高砂 ○墨繪の鳥臺 ○萬屋助六  
心中獄 ○自然居士過去物語 ○源氏妹が宿 ○頼光六  
江間入 ○尾上雲鏡機帶 ○興作小萬路の駒 ○道行三  
度笠 ○鶴飼石和川 ○お夏笠物狂 ○競牡丹 ○  
源平妹脊の鷄合

○常磐津節

○老松 ○子寶三番叟 ○蜘蛛絲梓枝(仙臺淨瑠璃)  
○積雪關扉(關の月) ○四天王大江山入(古山姥)  
○兩顔月姿繪(葱賣) ○尻駕色相肩(尻駕) ○帶文  
○桂川水(お半) ○倭假名色七文字(源太) ○壽叔旗  
○松色操高砂(太神樂) ○再夕暮雨の鉢木(雨の鉢)

木 ○寄艮娘釣毬(釣狐) ○後之月酒宴鳥臺(角兵衛獅子)  
○忍奇戀曲者(將門) ○花舞臺霞猿曳(新うつ  
任) ○薪負雪問の市川(新山姥) ○乗合船惠方萬  
歳(乗合船) ○其扇屋浮名戀風(夕霧) ○景清  
○勢獅子劇花籠(勢獅子) ○釣女 ○戻り橋 ○三保  
の松 ○松の鳥 ○三世相續繡文章(おその六二)

○富本節

○年朝嘉例壽(長生) ○四十八手戀所譯(相撲をし  
鳥) ○百夜菊色の世中(關寺) ○夫婦酒替ぬ中仲  
(鞍馬獅子) ○其佛淺間嶽(淺間) ○道行戀飛脚  
(梅川忠兵衛) ○むし運理橋(蟲賣) ○新曲高尾儀  
○梅高尾儀梅 ○花川戸身替の段(身替お後) ○春  
夜障子梅(夕霧) ○新曲かぐら獅子(神樂獅子) ○道  
徒戀曲物(松風) ○茂儀梅陸首(扇賣高尾) ○拙筆  
力七以呂波(乙姬) ○幾菊蝶初番道行(忠信) ○拙筆  
須野 ○御代築益穗富種(豊の前) ○高砂大夫 ○奈

○清元節

○梅の春 ○榮能春延壽(長生) ○北州千歳壽(北  
州) ○四季三葉草 ○其小唄夢廓(權八) ○絲の  
五月雨(小菊半兵衛) ○深山樓及兼樹振(保名) ○  
御名殘押繪交眼(鳥羽繪) ○山月樓及兼樹振(保名) ○玉兔  
○詠梅松清元(茶堯賣) ○色山解深川(待人) ○大  
和い手向五字(子守) ○色彩間刈豆(かさね) ○法

花姿色同(山歸り) ○月花妓女鳥(山姥) ○篋花手  
 向橋(吉原雀) ○復新三組盡(大山夢り) ○道行浮  
 塀崎 ○道行旅路の嫁入(八段目・おかげ夢り)  
 六歌仙容彩(文屋・喜撰) ○彌生の花淺草祭(悪玉)  
 おどけ俄杰珠取(玉屋) ○道行旅路の花聲(落人)  
 再春松種蒔(舌出し三番) ○初霞淺間獄淺間  
 菊壇閑陸言(お岩) ○倭假名色七文字(手古舞)  
 重樓閣の宵衣(白糸) ○明月花満衣(夜這星)  
 梅柳中宵月(清心) ○日月星晝夜の織分(夕立)  
 初櫻暎高馬(三人三吉) ○貨浴衣汗雷(夕立)  
 忍逢春雪解(三千歳) ○色増艶夕映(雁金) ○花雲  
 助相肩(雲助) ○青海波 ○助六曲輪菊(助六)

○新内節

○二重衣戀占(花咲綱五郎) ○若木仇名草(蘭蝶)  
 ○十日寺名殘鐘(三勝半七) ○眞夢血染抱柏(花蘭)  
 平三) ○歸咲名殘の命毛(尾上伊太八) ○傾城音  
 羽瀧(おとは七郎兵衛) ○膝栗毛(亦坂の段) ○膝  
 栗毛(市子の段) ○明鳥夢泡雪(浦里) ○明鳥後眞  
 夢 ○累身賣の段 ○十日寺名殘鐘(三勝半七)

○蘭八節

○道行相合巨燧(梅川) ○桂川戀の櫛(お半) ○鳥  
 邊山 ○花街の色糸(植木屋) ○道行榮種の亂咲  
 ○江戸の繪姿(おひな吉三郎) ○道行緑花房(お花  
 半七) ○口舌八景(小いな半兵衛) ○小春治兵衛巨  
 燧の段 ○夕霧

○江戸長唄 (めりやす大薩摩を含む)

○矢の根五郎 ○無間の鐘 ○傾城道成寺 ○風流  
 相生獅子(相生獅子) ○一人梳久 ○英獅子亂曲(枕  
 尾さんげの段(高尾懺悔) ○天人羽衣(道成寺) ○高  
 道成寺(娘道成寺) ○英執着獅子(執着獅子) ○風  
 流妹春の柱建(柱建) ○門出京人形(水仙丹前) ○風  
 亂菊比慈童(菊慈童) ○鐘入解脫衣(解脫) ○劍鳥  
 帽子照葉盡(御鳥帽子) ○柳羅諸鳥嚇(驚娘) ○しる  
 面の夏小立(興作) ○鞭櫻宇佐幣 ○ねこのつま ○乗掛情  
 鏡關寺小町(關寺) ○春調娘七種(七種) ○童子戯  
 面被(めんかぶり) ○衣かづき思破車(やれ車) ○櫻  
 童獅子 ○教草吉原雀(吉原雀) ○相生獅子 ○櫻  
 染分紅葉(うはなり) ○隈取安宅松(安宅) ○御代  
 松子日初戀(小松曳) ○其容形七枚起請(こもそう) ○照か  
 み ○關東小六後雛形(淡島) ○其面形二人梳久 ○黒か  
 勢五大方 ○吹雪の雛形(雛形狂亂) ○三重霞嬉  
 數類鳥(三重霞傀儡師) ○舞扇園生梅(舞扇) ○演  
 松風戀歌(濱松風) ○ゆかりの月 ○美面より ○七枚  
 續花の姿繪(汐波・猿廻し・老女) ○遅櫻手樹葉七字  
 (花かり初め傾城・越後獅子・橋辨慶・相撲蟹) ○戀  
 男調掛風(調松風) ○再春松種蒔(舌出し三番叟) ○戀  
 毘奇掛合(大神) ○四季詠三女字(門傾城・鹿島節)  
 ○閑技姿八景(節季候・心猿・晒女) ○正札附根元草  
 摺(正札附) ○寄三津再十二支(小原女・乙姫) ○四  
 つ竹) ○其九繪彩四季櫻(丁稚・天下るの傾城) ○



廿八卷 追加稿 謡曲三百番集

新獅子 ○三升猿曲舞(猿舞) ○石橋(外記の石橋)  
 娘 ○不動 ○七所御攝初鐵葉(西王母・載入)  
 復新三相蓋(初雁の傾城) ○廓三番叟(廓三番)  
 歌(す) 餘大津寶(時娘・關三の座頭・關三の奴)  
 月雪花詩繪の扨(月の卷) ○拙筆力七以呂波(芝  
 瓶の傾城・供奴・浦島・瓢箪鮫) ○重古勝機帶  
 (幾撥) ○後の月酒宴鳥臺(角兵衛獅子) ○御歳玉海老  
 手遊(とんび奴) ○委花後雛形(小鍛冶) ○初子日容  
 彩(業平小町) ○外記の傀儡獅形(初しくれ) ○哭八景  
 俄獅子 ○景(助六・景清・新鷺娘) ○勸進帳  
 花瓶曆色所八景 ○若菜摘・鍾馗・市 ○鳥臺 ○  
 軒端松 ○十二月所作 ○秋色種 ○常磐庭 ○三番叟 ○  
 花見車 ○手習子 ○織どの ○柳糸引御攝 ○鶴龜  
 五色の糸 ○今様小鍛冶 ○翁千歳三番叟 ○裸三番  
 叟 ○壽 ○鞍馬山 ○喜三之庭 ○紀州道成寺 ○廓丹前  
 子 ○時雨西行 ○喜三之庭 ○廓丹前 ○連獅子  
 ○歌 澤

寅派、芝派の歌詞を全部収める。  
 ( ) 小唄・端唄・雑曲集

江戸時代から唄はれて今日に尙唄はれてゐる雑曲三  
 百餘を収む。

○脇能物  
 高砂 ○弓八幡 ○志賀 ○淡路 ○老御裳溜 ○社樂  
 代主 ○放生川太夫 ○鶴尾 ○東方湖 ○白鷺祭 ○大白  
 天放 ○源太 ○江道明寺 ○賀茂 ○難波 ○山鷓祭 ○水室  
 輪藏 ○富石山 ○和布鳥 ○竹生鳥 ○右近世 ○戸室  
 岩逆 ○鱗形 ○金札 ○玉井 ○吳服 ○内外語 ○繪  
 馬 ○修羅物 ○生田敦盛 ○實盛 ○俊成忠度 ○巴度 ○濟經  
 政田村 ○朝長 ○敦盛 ○生田敦盛 ○實盛 ○俊成忠度 ○巴度 ○濟經  
 野宮 ○井筒 ○芭蕉 ○采女 ○東北 ○手定  
 佛原 ○揚貴身 ○羽衣 ○半藤 ○人靜 ○夕顔 ○千手 ○  
 六浦 ○藤 ○杜若 ○西行 ○野禪 ○陀羅尼 ○落葉 ○小檀  
 源氏 ○大草原 ○紙洗 ○小町 ○葛城 ○山姫 ○龍田 ○祇王 ○三輪 ○胡松  
 蝶風 ○熊野 ○天人 ○草紙 ○小町 ○葛城 ○山姫 ○龍田 ○祇王 ○三輪 ○胡松  
 卷絹 ○野垣 ○關寺 ○小町 ○葛城 ○山姫 ○龍田 ○祇王 ○三輪 ○胡松

○三井寺 ○櫻川 ○柏崎 ○百萬 ○飛鳥川

○原○善○風○雜○養○岸○行○會○狂○法○虫○郎○鳥○礎○梅○加○  
 絃一現春小界 鶴 禪 枕 居 我 仲 師 鐵 花 追 枝 茂 雲  
 上角○在日鍛冶○烏 師 師 士 士 光 輪 錦 ○ ○ ○ ○  
 ○仙紅鶴龍治○大 泰 會 夜 童 藤 小 刈 俊 木 戀 ○ ○ ○ ○  
 ○人葉神 會 我 討 菊 占 歌 袖 切 寬 葵 松 籠 求 葛 ○ ○ ○ ○  
 海狩○大○鷓 山 府 君 ○ 我 菊 占 歌 袖 切 寬 葵 松 籠 求 葛 ○ ○ ○ ○  
 士(張江大) 關 原 現 與 橋 蟻 僧 ○ 我 久 攝 橋 ○ ○ ○ ○  
 人良船山蛇○第○ 在 市 七 面 ○ 在 淇 海 威 陽 宮 唐 船 士 井 元 服 騎 高 野 月 ○ ○ ○ ○  
 辨慶 舍六 鐘 爐 在 市 七 面 ○ 在 淇 海 威 陽 宮 唐 船 士 井 元 服 騎 高 野 月 ○ ○ ○ ○  
 ○皇土龍 ○ ○ ○ ○ 現 淇 海 威 陽 宮 唐 船 士 井 元 服 騎 高 野 月 ○ ○ ○ ○  
 當帝 蜘蛛 葛 鞍 昭 現 淇 海 威 陽 宮 唐 船 士 井 元 服 騎 高 野 月 ○ ○ ○ ○  
 麻 山 行 城 馬 君 現 淇 海 威 陽 宮 唐 船 士 井 元 服 騎 高 野 月 ○ ○ ○ ○  
 ○ 愛 天 天 現 淇 海 威 陽 宮 唐 船 士 井 元 服 騎 高 野 月 ○ ○ ○ ○  
 殿 巖 狗 狗 伏 會 正 尊 ○ ○ ○ ○ 現 淇 海 威 陽 宮 唐 船 士 井 元 服 騎 高 野 月 ○ ○ ○ ○  
 ○ 須 生 空 雷 ○ ○ ○ ○ 現 淇 海 威 陽 宮 唐 船 士 井 元 服 騎 高 野 月 ○ ○ ○ ○  
 松磨 殺 車 鏡 ○ ○ ○ ○ 現 淇 海 威 陽 宮 唐 船 士 井 元 服 騎 高 野 月 ○ ○ ○ ○  
 山 院 飛 國 石 ○ ○ ○ ○ 現 淇 海 威 陽 宮 唐 船 士 井 元 服 騎 高 野 月 ○ ○ ○ ○  
 天氏 院 飛 國 石 ○ ○ ○ ○ 現 淇 海 威 陽 宮 唐 船 士 井 元 服 騎 高 野 月 ○ ○ ○ ○  
 狗 潛 達 栖 ○ ○ ○ ○ 現 淇 海 威 陽 宮 唐 船 士 井 元 服 騎 高 野 月 ○ ○ ○ ○

○五番目物

○石橋 ○合甫  
 ○閉曲 ○獨吟  
 ○空舞 ○鶻龍  
 ○浦狂 ○鶴田  
 ○十番 ○羽田  
 ○切切 ○護法  
 ○其條 ○阿古  
 ○笹卒 ○豐千  
 ○吉都 ○屋松  
 ○野姿 ○丹後  
 ○諺院 ○紫式  
 ○池明 ○源部  
 ○贊對 ○常陸  
 ○ 牽牛 ○大

以上日本名著全集、第一期出版。江戶文藝之部、全廿六卷及追加篇二冊は、この巻黄表紙廿五種を第一回配本として今後毎月一冊乃至二冊づゝを刊行するもので、豫約申込は、今年六月十六日を以て一旦締切りましたが、會員数の増大に伴ふ多量生産の利得を以て、益益いゝ本を作らんがため、その後も、また現在も、おそろく當分は將來も、會員の御紹介による新入會員の申込を歓迎致します。

○豫約會員外には領たず、分賣の需めに應じ得ぬこと、また申すまでもなし。  
 ○會費は一冊あて一圓六十錢。外に申込金一圓を申受ける。但しこれは豫約權ともいふべきもので、毎月のお費とは別。従つて一時拂の會員でも、二回拂の會員でも同様に申受く。  
 ○送本料は、會費の外に一冊あて金十二錢を要す。

(続)